加藤:　予定の時刻になりましたので、始めさせていただきたいと思います。第55回活発化チームの会合でございます。アジェンダに沿って進めさせていただきたいと思います。まず、お名前をお見受けしておりますけれども、総務省の飯田さまから最近のご報告等ございましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

飯田:　飯田です。今週はほとんどご報告することがなくて。GDCがいろんなところで話題にはなってまして。例えば、先週G7の2回目の大臣会合があったんですけれども、その場でもGDCが、国連総会の場で未来の宣言の一部としてできて。AIのパートが多いけども、IGFやコネクティビティのところも含めてこういう結果になったんで、今後どう見ていこうか対応していこうかっていうことがその都度話題になってます。先進国の間の受け止めは大体共通してますので、今後国連が、コネクティビティやインターネットガバナンスのところ、ちゃんと今までの方向で、よりしっかり取り組んでもらうということは歓迎しつつも、AIのところはあまり過剰な対応にならないように。あと、どうしても先進国の政府が集まると途上国との関係で、もちろん協力はしていくんだけれどもあまり無理な話にならないようにということもあって、そのあたりをどう今後方向づけていくか、来年に向けて、ということが話題になってます。必ずしもIGFがどうなるかということが話題の中心にならないのは、逆に言えば、あまり問題ない方向で結果が出たということだと思ってます。当然油断できないわけですけれども、来年に向けてこれをしっかり方向づけて。私個人的にはOSET、国連事務総長技術特使室も当初に比べると、現状というか今までの流れに合わせてきてる感じがしますので、建設的な方向なんじゃないかと思って見てます。一番の争点はAIの周りになるのかなと思います。それも含めて今後、ちゃんと日本として、あるいは先進国他の国とも協力して。先進国対途上国ではないので、こういう場では途上国の意見をよく聞いていくようにしたいと思ってます。皆さんのルートでもいろんな接触があると思いますので、また来年に向けても、来年がゴールではないので2030年に向けて、あるいはそれ以降に向けて、いろんなお話があればまた共有していただいて、先に向いていきたいと思います。当面、終わった感があって、こんな感じになったよねという、良かったところは良かったし、次の課題はこの辺だよねっていう感じが、今話題になってるような段階であります。とりとめなくて恐縮ですけども、本日は以上でございます。

加藤:　飯田さま、ありがとうございます。皆さま、いかがでしょうか。ご質問等ございましたら、せっかくの機会ですからお願いいたします。山崎さんお願いします。

山崎:　JPNICの山崎と申します。飯田さんにお伺いしたいのは、先週末ぐらいから国連がGDCに関する賛同受付フォームみたいなのを作ったようなんですけれども。今後、GDCの賛同者を増やすとか、書かれたことを実現に移していくようなプロモーション活動とか、そういうのが行われるんじゃないかと私は想像してるんですけども。そういうので各国政府に協力を依頼されたりっていうのは、まだない感じですか。

飯田:　直接、われわれもファンドのあれができたとか、エンドースを求めてなんとかっていうのは聞いてはいるんですけども、直接日本政府に対して話があったというのは聞いてません。外務省で止まっていれば別ですが、今のところは聞いてないです。通常ですと会議で、ああいう形でみんなで賛同しているので、個別にまたサインを求め

てくるってことはあんまりないと思うんですが。今後どう動いていくのか。まだ、さっきもお話した通り、これがゴールではなかったので。また今後のモダリティ(様相)とかいろんなことの議論になる中で、賛同をより強化してこうっていう動きを国連側が見せてくるのはあり得るだろうと思ってます。別に用心するということでもなく、おかしな方向にさえ進まなければ協力していければと思いますが、今のところはそういう直接の動きはないでございます。

加藤: さっき高松さんが手を、挙げていただいてたんですが。よろしくお願いします。

高松: 私も山崎さんが今おっしゃったところと同じ点が気になっていて、チャットのほうにも該当する、

加藤: URL書いていただいてたんですね。

高松: その「Join us in this effort」っていうところを押すと、単にGDCの賛同者募集をしているというよりかは、もう一歩、「GDC中の各パラグラフのこの部分についてあなたはどうコントリビュートできますか」みたいなところも含めてサーベイのようになっていたのが気になっていて、私も。各国政府というよりかは、その他ステークホルダーに向けて開かれている場所のようには見えているんですけども。日本政府の方がどのように対応されるとか、なんらかGDCの事務局のほうからアプローチが行っているのかなというところが気になっていたので。今、飯田さんのおっしゃってくださった内容で、そういう状況なのかというのが把握できたので手を下げましたという状況です。

加藤: 他の方いかがでしょうか。ご質問、コメント等ございますか。何か出る前にあれですけど、飯田さまのその後、GDC外で、例えばWSIS+20とか今年のIGFとかについて、アップデートとか追加の情報とかございますか。

飯田: WSIS+20に向けては、引き続きG7プラスアルファで準備体操してるような感じなんですけれども、特段、具体的な進展があるということはないです。今年のIGFに向けては、ぱらぱらとセッションの話とかが来始めてはいますけれども、非常に情報が少ない感じはありまして。各国、先日のG7でも「行くの？」とか「どんな対応すんの？」っていうレベルの話で、あまり大きな話題はない状態です。例えば各国とかEUとかが、こんなセッションで、去年に続いて、例えばなんて言ってたかな、AIがいっぱいあるのはあれなんですけども。Declaration for the Future of the Internetの代わりに何やるって言ってたかな、アメリカ政府が企画してるとかそんな話にはなってますけども。あまり大きな、去年と比べての変動がある感じには受け取っておりません。どれくらい現地に集まって議論が盛り上がるかというところは、もう少し煮詰まってみないと分かんない感じがしてます。

加藤: 他、皆さんいかがでしょうか。特にございませんか。後でも、もし飯田さまいらっしゃればまたお伺いするとして、次のアジェンダに移らしていただきたいと思います。MAGからのご報告っていうことで、河内さん、お願いいたします。

河内: 聞こえるでしょうか。

加藤:　はい、聞こえてます。

河内:　MAGですね。画面共有させていただいてもよろしいでしょうか。

加藤:　お願いします。

河内:　前回の活発化チームの会合の翌日か翌々日に、前回のMAGのリモート会議行われました。前回はそれほど大きな話題はあまりなくて。プログラムのほうも、9月25日の時点ではウェブサイトに載ってるプログラム、まだメインホールのプログラム出てなかったんですけど、さっき見たら入ってました。Day　0は今のところ何もプレナリーホールにまだ入っていなくて。Day　1にはオープニングセレモニーとか、メインセッションは4つ、MAGが作っているものは入っているんですが。ハイレベルリーダーズセッションとか、パーラメンタリー（議員）セッションは1個入っていたと思います、ここにパーラメンタリートラックが1個入ってますけども。メインセッションとそれしか入ってなくて、ハイレベルセッションは全然、まだ中身とか日程が決まってないらしく。空いてるところに入るんだとは思いますけど、一応、プレナリーホールのプログラムもここに入ってるのが現状だと思います。NRIもメインセッションがここに入っているということで、9月25日時点ではプレナリーホールの予定が入ってなくて、「いつ出るのか」という話をしていました。資料に戻ります。登録状況などについて事務局から説明があって、「この時点ですでに2000人以上は登録しているので、早く登録してほしい」とか「ビザも余裕を持って申請したほうがいい」とかいう話がありました。その中で一番の大きなトピックとしては、ここら辺に書いてあるんですけど、来年のMAGのメンバーについてなんです。いつもMAGのメンバーは、ご存じの方も多いと思いますが、各ステークホルダー、産業界とか政府とか市民社会とか技術コミュニティからそれぞれ推薦されて、毎年3分の1ぐらいずつ入れ替わりで3年ずつの交代なのです。私ももう3年目なので今年で終わりなんですけど。新しく3分の1ぐらいがそれぞれのセクターから推薦されて入れ替わるというのが通常の、これまでのMAGメンバーのローテーションなんですけど、2025年はWSIS+20があって、IGFが、大丈夫とはいえ変わることもあり得るかもしれないので重要な年であるというのが一つと、それから20周年記念だと。もう一つは、これよく分かんないんですけど、来年のIGFの開催地候補って、まだ公表されてないんですけども、2カ所候補があってどちらも結構寒い地域で、しかもどちらかは「もしやるんだったらIGFを6月末にやる」とかって言ってるらしいです。どこなのかよく分かんないんですけど。そうすると毎年やってる、例えばワークショップのセレクションだとか審査とか、そこら辺を超特急で1月からやらないと間に合わないということで、2025年だけ特別にMAGのメンバーを、今までのやり方ではなく、過去のMAGメンバーから推薦を出してもらって、その推薦をもとに2025年のみのMAGを立ち上げたいと言っていました。そのMAGメンバーがその後1年のみでやるのか、それとも2024年でまだ任期が終わらないメンバーがまた2026年から戻るのか、その辺は「まだ検討中だ」というようなことを言っていました。

この話は過去の、MAGのパブリックって今のMAGメンバーだけじゃなくて、過去のMAGメンバーも入っているメーリングリストに全部この話は流れていました。ただ、まだ募集がかかっておらず、これからかかると思うんですけど、どうなるのか様子を見て

いきたいと思っています。あとは、MAGが企画している4つのメインセッションの企画についてのそれぞれのアップデートです。スピーカーがどれくらい決まってるとか、内容がどれくらい決まってるとかいうことが、それぞれのメインセッションの責任者から報告がありました。メインホールのセッションは、さっきちょっと言った話。あとは各ワーキンググループとかポリシーネットワークとかNRIとか、そういうとこの報告が行われました。次回は来週火曜日のUTC11、12時って書いてありますけど、日本時間でいうと29日火曜日の夜中の24時からの予定になっています。以上です。

加藤: ご質問等ございますか。

河内: 山崎さんが手を挙げていらっしゃいますかね。

加藤: 山崎さんお願いします。

山崎: たびたび山崎です。河内さんに質問したいのは、6月ですよね。MAGで実現可能性っていうか、めちゃくちゃ、去年の10月でも結構早くてスケジュールが詰まってるっていう感じがしたんですけど。6月ってめちゃくちゃ急がないと間に合わないんじゃないかと思ったんですけど。その辺、MAGの皆さんどうお考えでした？

河内: みんな自分がMAGになる、なる可能性のある人がどんだけいるか分からないですけど、大変そうだねっていう感じっていうか、ちょっとまだ他人事的です。事務局が一番大変だと思います。われわれはまず、すぐワークショップの提案の募集かけて、それを事務局が全部整理した上でわれわれが評価してというようにやります。評価が終わるのがいつも6月、もう6月ですから。6月の中旬とかで、対面会合で最終的に決めて。それを巻かないといけない、巻くとこって多分事務局ですよね。だから事務局が一番大変だと思うんです。MAGが大変というより事務局だと思います。なんで、やり方を少し考えないと実質的には無理だろうとは思います。

山崎: 6月、あまりにも早いんで。冬は寒いってのは分かるんですけど。8月とか9月にしてくれればいいかなと思いました

河内: なんで6月なんだろうって。ある人、WSIS+20が多分6月じゃないですか。それにタイミングを合わせようとしてるのか、その辺よく分かんないんですけど。いくら寒くたって別に屋外でやるわけじゃないから、北極でやるとか言ってるわけじゃないので。その辺はよく分かんないんですけど、6月にやりたいと言ってるという話です。ただそこが候補地であって、そこに決まったわけではないはずなんですけど、その辺はよく分かんないです。

山崎: 国連総会より前に終えたいという意思を誰かお持ちなんですかね？

河内: あるんですかね、分からないです。

加藤: 他の方いかがでしょうか。次回のMAGが29日にあるということで、もしその時に追加の情報があれば。活発化チームの会議とタイミング的に、MAGの直後に活発化チームがちょうど来ればよかったんですけれども。ずれて少し時間遅れになって恐

縮なんですけれども、また追加の情報があれば、メーリングリストで流していただけることはお願いしたいと思います。

河内:　分かりました。

加藤:　皆さん、いかがでしょうか、ご質問等。結構新しい、

河内:　今高松さんからチャットでいただいてるのは、先の数字はオンラインを含めてということで、現地登録だけではないです。

加藤:　ちなみに、今回も参加される予定の方って例年通りたくさんいらっしゃるんでしょうか。ここ（活発化チーム）の会にお集まりの方、そろそろ、いらっしゃる方同士は情報交換等始めてもいいのかなって思うんですが。

河内:　もし行かれる方でまだビザを申請されてない方がいらっしゃったら、IGFのページから飛ぶところからビザの申請をしないで、ビジットサウジだったか日本語のサイトがブラウザで検索してもらえばあると思うんですけど、そっちからやったほうがスムーズにいくんじゃないかと思います。もし何か詳細必要でしたらお送りしますんで、ご連絡いただければと思います。

加藤:　活発化チームのメーリングリストに流していただいてもいいかもしれないですね。

河内:　今チャットに送ります。

加藤:　チャットに入れていただいてもいいですね。皆さん、他にご質問等いかがでしょうか、よろしいでしょうか。それじゃあ河内さん、ご報告ありがとうございました。引き続きおいでになって、追加の質問があればお受けいただければと思います。次に、NRIに関してアップデートですけれども、これも山崎さん、河内さん、いかがでしょうか。

山崎:　NRIの会合では、IGFサウジアラビアでやるNRIメインセッションの登壇者について議論しましたがまだ確定はしてなくて、明日、今月の会合がありますので、そこで議論する予定になっています。その会合では特に議題にはなってなくて、セッションごとの会合があるんですけども、そこで私が担当なのはインクルージョンなんですけども、こちらに関しては登壇者とモデレーター、確定したということで。加藤さんがご担当のニューテクノロジーのセッションについては、登壇者は一部最終確認中ですけど、モデレーターは確認したということだそうです。河内さんのミスインフォメーション、ディスインフォメーションのほうはどういう状況でしたでしょうか。

河内:　＜聴取不能＞があって、その時も大体スピーカーのパネリストとかモデレーターの候補は出ていて、それぞれの候補者に事務局からアクセスして可能かどうか聞くとかっていう話になって、その後何も連絡が来ていないので、その後の状況は分からないです。おそらく、まだ確定まで行っていないもののパネリストに打診しているところだと思います。

山崎:　NRIに関してはそれぐらいでしょうか。加藤さん、河内さん、補足はありますか。

加藤:　今の河内さんと一緒で、このニューテクノロジーに関してもそうなんですけれども。メインセッションも名前はほぼ確定していてリストで回ってるんですが、その人たちが本当にどういう形で出れるかっていう最終確認を事務局がやってるっていう意味で確認中という意味です。そういう意味で、どのセッションもほぼ全て決まってるという状況になってると思います。いかがでしょうか、NRIの状況は。NRIのほうは割と早めからいろいろと、議論の概略とスピーカー、モデレーターが決まったので、割と準備は早く進んでいるかなという印象だったんですけれども。

何かご質問ございますでしょうか。もしなければ次の項目として、その他の会議に関する報告、イベント等の情報共有、この辺何か皆さんにご披露いただくような情報ございますか。先ほど、GDCに関して飯田さまからかなり詳しくいただいたんですけれども、WSIS+20とかその他。もうNETMundial+10のその後っていうのは、前村さん、ないですよね。いろんなとこに引用されてはいると思うんですが。

前村:　特に聞いておりません。

加藤:　その他の会合に関してっていうことでは特にないですか。先日ちょっと聞いたところで、河内さん突然振って恐縮なんですが、EUのカウンセルのほうでIGFの延長についての意見書みたいなのが出ていたように記憶してるんですが。あれって公開された情報ですよね。

河内:　そうだと思います。今すぐ出ますかね、ちょっと待ってください。

加藤:　もしあれば。割と短い文書で、明確に「IGFを10年延長するべきだ」みたいな内容の決議があったように見えたんですけれども。そういう意味で、WSIS+20に向けて、いろんなところで動きが始まってるのかなという気がしました。すいません、突然振って恐縮。出そうですかね。

河内:　出ます、ちょっと待ってください。

加藤:　これに限らず、いろんなところでいろんな意見を、いう動きがこれから活発化するのかなと思いますけれども。

河内:　チャットには貼ってみました。今チャットに貼ったURLでここへ行くと思うんですけど。

加藤:　その紙自身が出てこないで、The Council of Europeのサイトになっちゃいました。

河内:　これサーチしてるんです、なんでちょっと。これ自体は正式な、「Adopted by the Committee of Ministers on September 25」って書いてあるのでちゃんと採択されているのだと思うんですけど。この内容は、要するにThe Council of Europeが、「

IGFは重要でサポートしていて、あと10年はやるべき」、10年とか20年…

加藤: 10年だったような気がしました。

河内: 「10年は続けるべき」みたいなことが書いてあると思います。

加藤: そういう決議があったみたいな内容に読めたんですけど。

河内: ということで、もしよろしければ見ていただければと思います。

加藤: これ以外にも何か、いろんな会議とか情報共有いただくようなこと、ございますか。特にございませんか、皆さま。それでは情報共有っていうのはそこまでとさせていただいて、あとはアジェンダに沿って続けさせていただきたいと思います。

まず、活発化チームの今後についての検討ですけれども。実は定款案がかなり煮詰まって、というご報告を前回もさしていただいたんですけれども。それに基づいて、発起人として名を連ねたいという方々が、いろいろとお話を進めていただいてるって伺っています。何か具体的に決まったってことでなくて、まだ議論が続いているという状況です。特に何か、ここに書いていただいた通り大きな動きが私の知る限りではないんですけれども、もし何か情報共有いただける方があればお願いしたいと思います。いかがでしょうか。これまで活発に参加されてきたJPNICさんとかJAIPAさんからコメントいただくことがあれば、お願いしたいと思います。

前村: 前村ですけども、JPNICから何かご報告するようなことがあるわけではなくて、それくらいしか言えないです。もめてるっていうことでもないんですけど、すいません。

加藤: いろんな調整をしていただいてるという理解で、

前村: そういう感じだと思います。

加藤: すごく大きな問題があるとかっていうんじゃなくて、皆さんで足並みをそろえていただくのに、各団体の方々が意見調整していただいてるという、

前村: それはお察しの通りだと思います。

加藤: そういうことかなと思います。さっき拝見した限りでは、JAIPAさんも、木村さんお出になってますが、木村さんからもコメントございますか。

木村: すみません。今日、立石さんが選挙の応援の件で出られて。

立石: 私、今入りました。出ていたもので、すいません。

加藤: ベストタイミング。今、本チームの今後に関して、特に大きな動きはないけれども、前村さんからも「何かもめてるとかっていうことじゃないけれども、いろんな関係者で調整中です」というコメントがあったんですが。立石さんから何か、

立石: 右に同じです。ぼちぼち最終的なまとまりはできる、決着っていうと言い方は

変ですけど、収束するんではないかなと思ってます。特に何かあるわけではないです、前村さんに同じです。

加藤: いろんな団体の内部での調整含めてお話は進めていただいてるということで。そろそろ調整の最終段階に近づきつつあるということも推測しますけれども。できれば次回とか次々回でその辺、ご報告、ご相談できることを期待しております。何か、

立石: 途中で抜けちゃうかもしれません、すいません。

加藤: 本チームの今後に関してはそんなところでよろしいでしょうか。ご質問等あれば、皆さま。もしまだあれば後で聞いていただくとして、今日多分一番重要なアップデートの議題に移らしていただきたいと思います。すでに最初のご案内を事務局から、山崎さんのほうからお出しいただいているんですけれども、今年のIGFの国内会合です。概要が決まって、すでにいろんな方にご案内さしていただいた状況でございます。これについて、できれば山崎さんにお願いしてよろしいですか。大体のポイントここに書いていただいてますが、まとめてそれをご報告いただいて、もしご質問とかさらにコメントいただければ、それを反映させた形でさらに詳細なプログラムを企画したいと思います。山崎さんいかがでしょうか。概要だけご報告、お願いしてよろしいでしょうか。

山崎: もちろんです。山崎から簡単にご報告します。9月末にセッションの公募をいたしまして、結果9件もご応募いただきました。非常にありがたいです。

プログラム委員会で選定をしました結果、全セッション承認されました。それプラス、企画セッションというのを2つ、プログラム委員会で開催する予定です。あとは、イベントの最初にご挨拶をということで、村井純慶応義塾大学教授からはビデオレターでいただけると伺っております。国連IGF事務局チェンゲタイ・マサンゴ氏からも、同じくビデオレターでいただけると伺っております。活発化チームからは加藤さんにお願いしたいと思います。あと、総務省データ通信課の宮本さまにお願いして、総務省内で検討いただいてるということです。

加藤: もしよろしければ、これ出していただいてますね。簡単に9つのセッション、プラス企画セッションについて、さっとお話触れていただくことできますか。皆さんこの表はご覧になってないと思うので、こんな感じだっていう、

山崎: 先にアナウンスした時点ではこの時間割りまでは出していなくて。

加藤: 細かく書いてないので、今考えてる案はこれです、

山崎: 日程と各日単位でどのセッションやるかとかしか書いてないんですけども。11月5日は開会挨拶してから応募セッション7「NTT法改廃のインパクト」、応募セッション1「生成AIの誤判断とデジタル社会の生命線とリスク」、応募セッション9「CSAMに対する取り組みと日本の現状」、この3つのセッションを開催予定です。11月6日水曜日は、「スラッジ情報と偽情報、誤情報の取り組み」、「地域インターネットレジストリ機構

の再検討」、「アジアと日本のインターネットガバナンスのこれから」、以上3つがこの日の応募いただいたセッションです。最後に企画セッションとして「インターネットガバナンスの今後」ということで、GDCとかWSIS+20、この辺について今後どうなるかっていうような議論をしたいと考えています。7日ですけど、最初に「Advancing the security of today's critical infrastructure」ということで、量子コンピューターとか暗号とかそういうものが含まれるセッションです。こちらのセッションは英語で開催されます。次に「Fiber to the Homeを活用した草の根ウェブサーバーによるリッチコンテンツ配信について」、これはIGFサウジアラビアでもライトニングトークとして開催されるセッションということです。その上のアドバンシングセキュリティっていうやつもIGFリヤドでセッションとして開催されるもので、ここでやるのとIGF本体やるのと同じ登壇者と伺っています。その次に、企画セッションとして「日本における国内IGF活動の今後」です。最後に「マルチステークホルダーモデルの成立条件を考える」。以上が、日本インターネットガバナンスフォーラム2024で開催される予定の全セッションとなります。

加藤: 1、2点、補足させていただきますと、ご覧になった通り、開始時間が3日間で微妙に違うんです。これは登場いただく方々のご都合、特に3日目の木曜日は地球の裏側から南米の方がリモートで参加していただくっていうことで、日本時間の午後遅めになると向こうは真夜中の真夜中にスタートっていうことで、その辺を考慮してぎりぎりこれぐらいの時間から始めさせていただくのはどうかということを考慮したこと。それから日によって何時まで可能だとかっていうことを調整さしていただいて、プログラム委員会でその辺を出席者の方々にも再確認した上で当てはめさせていただいたっていうことで。

案内には注意深く開始時間が若干違うっていうことをもう一度リマインドさしていただきますけれども、そういうことだっていうことをご了解いただきたいと思います。それから企画セッションの2つに関して、山崎さん、もう一言ずつご説明いただいたほうが良くないですか。2日目の、これを見せていただくといいですね。

山崎: 企画セッションですけども、提案いただいたセッションほどかっちり決まっているわけでは、必ずしもないんですけれども。最初というか順番は前後しますけども、「日本における国内IGF活動の今後」というのは、

加藤: これは3日目の、

山崎: 3日目の。法人設立は目指して活動はしておりますけども、できた後何をするかというところについて皆さんに議論いただくということで。パネリストの皆さんに一部打診中というところになって、「もうちょっと広げたほうが良いのではないか」というコメントもいただいております。2日目にあるほうの「インターネットガバナンスの今後」については、未来サミット、GDC、WSIS+20、IGF継続、このあたりについて議論いただくということで。こちらも同じような顔ぶれですんで、もうちょっと新しい、若手の方々などに声をかける予定にしております。

加藤: 大体それぐらいでよろしいでしょうか、山崎さんのご説明。

山崎:　私からは以上ですけども、ご質問等あれば。

加藤:　ご質問と、あといろんなサジェスチョンいただければありがたいと思います。今からでも細かい修正をしながら進めたいと思いますけれども。皆さんいかがでしょうか。今日は上村先生とか実積先生とかも入っていただいてます。ご質問やご意見、もしあればお願いしたいと思います。総務省から宮本さまもご参加いただいてますが、総務省のほうでもどうご対応いただくかについて、何かコメントいただくことがあればお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。特にございませんか、今。大枠はこういうふうに決めさしていただきましたが、おおむねこれでご了承いただいて、あとはこれに沿って細かいところをセッションの応募者と詰めさせていただいて、当日やらせていただくっていうことでよろしいでしょうか。何かご懸念点等もあれば、この場でご指摘いただければと思います。

山崎:　高松さんから手が挙がって。

加藤:　すいません。見えなくて、失礼しました。高松さん、お願いします。

高松:　チャットのほうにも書かせていただきましたが、11月のイベントは法人化の議論もされるかなと思ったんですけど、それはイベントの前に設立されていることはないっていう理解でよろしかったでしょうか。ていうのと、「法人化したら何をしようか」みたいなお話って、その法人がある程度何をするのかみたいなイントロダクションがあるのだろうかというのがちょっと気になっていて。そういうのも無関係に広く議論をするっていう形もあると思ったんですけど、定款レベルとかである程度形ができているのであればそれを前提にどうしていくといいのかみたいな、より実現可能なとか参考になりそうな話をしていただくというのもありなのかなと思ったので、質問とコメントとさせていただきました。以上です。

加藤:　山崎さんいかがですか。私からお答えしましょうか。

山崎:　加藤さんからお答えいただいても構いません。私から申し上げても、どちらでも。

加藤:　山崎さん、お願いします。

山崎:　もし違ったら、加藤さん、割り込んでください。私の理解では、定款レベルはほぼ確定しているので、今後は個別に設立する団体が打ち合わせをするというのが残っているという認識なので。先ほどあったようにそんなにちゃきちゃき進んでるわけでもないので、国内事前会合開催前に組織ができるってことはなさそうということですし、事前会合の場で議論できることもあまりないということで、その話はあまり、せいぜい状況の報告ぐらいであまりないんじゃないかというのが私の認識です。

加藤:　加藤から補足です。山崎さんご指摘の通り、時間的に見て、先ほどかなりいろいろと関係者の間でお話が進んでるっていうことではありますけれども。11月5日までに定款をファイルして会社が法人として成立している、発起人会議があって成立して

るっていうのは、タイミング的に難しい状況になっておりまして。そういう意味では、この日はこういう法人化ができましたっていうご報告ではないので。考え方として、「概要ですけれども、こういう法人化を考えています」っていうご報告が一つ。それは定款レベルで細かいご説明をするっていうよりも、こんなストラクチャーっていうのを、外観を申し上げることかなって思います。それが一つと。もう一つはもっと重要なことなんですが、この活発化会議を通じて、例えば、これまでもそういう話ありましたが、毎月、今日のような連絡会的な会議に加えて、昔JPNICさんなんかも随分指導してやっていただいたわけですけれども。各界、何か専門家の方とかに簡単に案件ごとのご報告をいただいて、それを質疑応答するというような、そういうサブスタンティブなものも入れたらどうかっていう議論を、私からも提案さしていただきたいなって思っています。法人化することによって、さらに活動活発化するということに合わせて、そういう活動をしていったらどうかというお話をさしていただきたいと思います。それについてどんな、今後このグループが、ことをやっていくか、どう変わっていくべきかということを皆さんで議論していただく、そういうセッションかなと思っています。山崎さん、後半の部分いかがでしょうか。このセッション自身、特に山崎さんからもご提案いただいた内容で。そんなことで方向性あってますでしょうか。

山崎: 私が考えてるのとほとんど一緒だと思いますけども、これは私のセッションではなくて、プログラム委員会が企画したものですので。

加藤: もちろんそうです。

山崎: 私の一存で決まるという性質ではありませんので、プログラム委員の皆さんが強く反対とかされない限りは全然問題ないんじゃないかと思います。

加藤: ご指名いただいて私がモデレートをさせていただくことに、ご提案いただいているので。私としては今のような、「法人化についてこういう動きがある」っていうご報告は手短にした上で、「活発化チームの今後はこういうことをしていったらどうでしょうか」っていう頭出しだけをして皆さんでご議論いただく、そんなセッションにしたいなって思っています。前村さん、何か。

前村: すいません、ミュートするべきでした。失礼しました。

加藤: いかがでしょうか、皆さん。大体11月5日、6日、7日の今年のセッションについてご報告をいただいたわけですけれども。繰り返しになりますけれども、こういうことをやったらどうかとか、こういう方向性でやったらどうかということがあれば、お願いしたいと思います。あと今日お集まりの方で、「自分もセッションに手を挙げていて、こんなことをやろうと思ってます」というようなことのご披露でももちろん結構です。

特にコメントございませんか。追加のコメント、ご質問なければ、この方向で進めさしていただくということでご了承いただければと思います。一応以上が本日予定していた議題なんですけれども、何か追加でこういう情報があるとかご報告があるとかご質問があるとか、そういうことございませんか。特にございませんか。今日そういうご質問なければ、次回は11月5、6、7の場で皆さんにお目にかかるなり、またリモートでお話

しするなりっていうことになると思います。企画セッションに限らず、IGFの良さはみんなが意見を言い合うということですので、いろんなセッションについてもご質問とかご意見の形でご参加いただければと思います。基本的にはリモートでご参加いただくと思いますが、フィジカルに会場に来ていただくことも大歓迎ですので、よろしくお願いしたいと思います。あと決めることとして次回の会合ですけれども、3週間後ですと11月11日の月曜日、4週間後ですと11月18日の月曜日です。私自身はどちらでも、タイミング的にはいいのかなと思いますが。どちらかが何かの会議に当たっているとかご都合悪いとか、そういえば11月11日、ICANNの週でしたっけ。

前村: その通りです。

加藤: ということは、どちらかっていうとICANNご参加の方々は、その翌週Internet Weekありますが、18日なら大丈夫でしょうか。前日では、

前村: どうにかできるのは18日だと思います。

加藤: そっちのほうがよろしいですね。

前村: はい。

加藤: じゃあ主な方は次回、日本IGFでもお目にかかるということで。次回は4週間後の11月18日月曜日、5時からということでいかがでしょうか、皆さま。特に異議なければそのようにさしていただきたいと思います。繰り返しになりますが、もうそれ以外に何かコメントいただく項目はございませんでしょうか。それじゃあ今日は1時間弱で終了したということで、大変効率よく進めていただいてありがとうございました。再来週、日本IGFの会議でお目にかかりたいと思います。本日はありがとうございました。これで失礼させていただきます。

前村: ありがとうございました。